## 令和元年度(H31)学校評価(職員用)

## 沖縄県立美咲特別支援学校

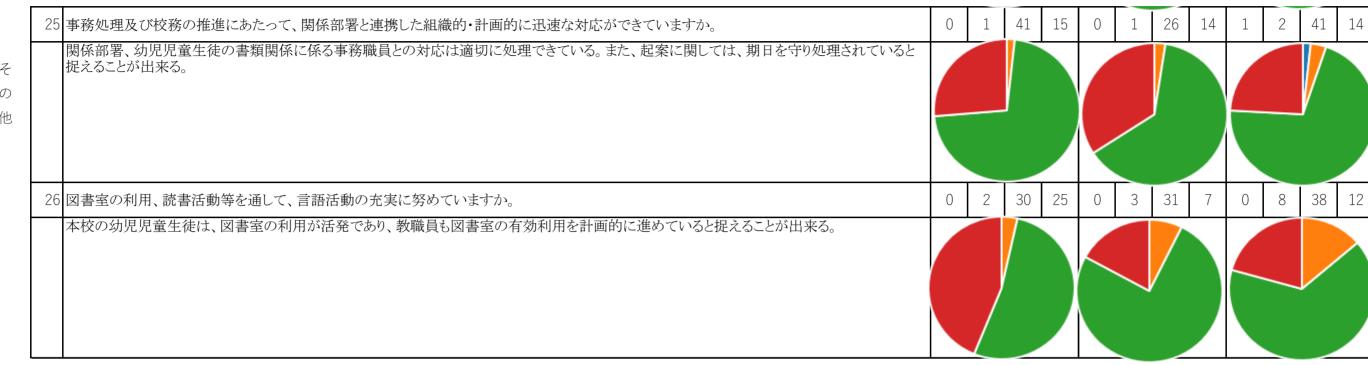
		評 価 ×;全くそう思わない ▲:ややそう思わない ○:ややそう思う ◎:とてもそう思う		【幼小	学部】			【中当	学部】			【高等	部】	
		主語(美咲特別支援学校の職員である私) は		評	価			評	価			評	価	
١	Vo.	評 価 項 目	×	•	0	0	×	•	$\circ$	0	×	•	$\circ$	0
	1	校務支援システムを活用し、教育的ニーズに応じた「教育支援計画」「指導計画」の作成、活用及び評価を実施していますか。	0	2	30	25	0	3	24	14	0	5	38	15
		校務支援システムの活用により、各学部で個々の実態に応じた、教育計画の作成及び評価を実施していると答えている職員が多い。 次年度の教育計画においては、新学習指導要領に対応し、教育計画段階から、指導の3観点①知識・技能②思考力・判断力・表現力③学びに向かう姿勢に基づいた、個々の教育目標・内容を作成し、それに伴った、児童生徒の評価の実施、いわゆる指導と評価の一体化が求められ、より具体的な授業実践と指導内容の説明責任が果たされることが期待される。												
	2	教育指導について、説明責任を果たし、保護者等との連携及び共通理解が図られていますか。	0	2	30	25	0	0	26	15	0	1	38	19
		教育指導については、説明責任を果たしており、保護者との連携が取れているとの回答が多い。しかし、重複認定や各教科等の指導については、保護者に対してどのように説明し理解を得ているのかという点では、疑問が残る。特に、合わせた指導における教科の内容について計画及び指導内容の説明が明確にされる必要がある。												
	3	幼児児童生徒は、生き生きと楽しく学校に通っていますか。	0	0	26	31	0	0	14	27	0	5	35	18
学習活動		相対的に、幼児児童生徒が、楽しく学校に通学していると捉えている職員が多い。しかし、高等部の職員で5名が否定的に回答。また、保護者の調査との相違が気になるところである。												
動	4	教育指導【各教科等、各領域(自立活動・道徳等)の指導】については、必要な指導及び適切な支援ができていますか。	0	4	41	12	0	1	26	14	1	4	42	11
教育指導·進		必要な支援・適切な指導を実施しているとの回答が多い。個々の教育的ニーズに沿った、指導計画及び教育指導の実践が成されていると考えられる。 次年度においては、教育課程の改定により各教科を主体とした実践の充実が必要であり、合わせた指導における「各教科」の指導の見える化が必要であり、授業改善が求められる。また、各学部の系統的な指導の接続や地域の小中学校からの転入生等の増加により、「学びの連続性」を担保した教育指導が求められる。												

路路	5	分かりやすい授業の創意工夫を図るとともに、主体的に活動・行動しようとする意欲・態度を育てていますか。	0	4	37	16	0	1	25	15	0	3	30 25
指導		いわゆる新学習指導要領で示されている、アクティブラーニングについて取り組んでいるとの回答が多い。 次年度においては、幼児児童生徒の学びに向かう姿勢「主体的な意欲・態度」の育ちをより確実にするための、授業改善が教育課程の改訂に合わせて求められている。特に、「合わせた指導」における各教科の指導の見える化については、教師間の連携や指導する教育内容を明確にすることが必要である。											
	6	キャリア教育の充実を図ると共に、学校・家庭・関係機関と連携、情報の提供など進路指導の充実を図っていますか。	1	12	35	9	0	5	27	9	0	5	35 18
		進路指導及びキャリア教育については、充実しているが多数を占めているが、各学部共に否定的な回答をしている職員もいる。このことは、就学や高等部段階の不本意入学等の影響が考えられる。 保護者会や面談で、保護者が求めている情報を的確に提供できるように、日頃から教育支援部・進路指導部や生徒指導部と連携を密にしていく。											
	7	     学習指導要領改訂に沿った、教育課程及び教育指導・授業改善に取り組んでいますか。	0	11	36	10	0	1	30	10	0	7	37 14
		今年度は、校内研修や教育課程係を中心に教育課程改定の研修を進めることで、新学習指導要領の理解や本県の作成要領や学校長の経営方針を踏まえ、各学部において新学習指導要領改定に即した教育課程の改定や授業改善に取り組んでいるとの回答が多い。											
	8	不登校及びいじめについて、組織的に対応していますか。	0	4	37	16	0	0	20	21	0	2	31 25
		職員の大多数が、不登校及びいじめについては、学級・学部や教育支援部及び関係部署と連携した取組が成されていると回答している。											
	9	   相談者のニーズに応じた教育相談・就学相談が実施されていますか。	0	2	39	16	0	2	25	14	0	5	31 22
教育相談		職員の大多数が、担任、担当及び教育支援部が中心となり個々のニーズに応じた相談に対応していると回答している。											

10	関連機関と連携し、計画相談等ネットワークの充実を推進していますか。	0	2	38	17	0	3	27	11	0 3	31	. 24
	職員の大多数が、担任、担当及び教育支援部が中心となり関係機関との連携が図られていると回答している。											
11	栄養士・養護教諭と給食に関して連携を図っていますか。給食は、幼児児童生徒の健康・栄養について留意されていますか。	0	0	24	33	0	1	16	24	0 2	2 19	37
	職員の大多数が、幼児児童生徒の健康安全や学校給食について、連携が図られていると回答している。											
12	健康・安全教育・性教育について幼小中高各学部の発達段階に即した指導が図られていますか。	0	3	39	15	0	2	26	13	2 9	33	3 14
	職員の大多数が、幼児児童生徒の健康・安全教育・性教育について、各学部が連携し発達段階に応じた教育指導の実践が図られていると回答している。											
13	スクールバスは、安全に留意した運行が成されていますか、また、バス部等との連携を図っていますか。	0	1	30	26	0	3	24	14	0 2	38	18
	職員の大多数が、スクールバスは安全に運行され、各担任・学級がバス部等との連携が図られていると回答している。											
14	突発的な事態及び緊急時対応について、「シミュレーション」を通して全職員が行動を理解し率先的に対応できていますか。	0	1	28	28	0	2	18	21	0 1	. 36	5 21
	職員の多数が、救急対応その他について、緊急時シミュレーションやエピペン研修・心肺蘇生等の研修を通して、対応について理解を進めている。											

15	災害時(訓練等で)に幼児児童生徒の実態に即した避難誘導・行動等の対応ができていますか。	0	1	32	24	0	2	23	16	0 (	) 42
	避難訓練等の内容を消防署等の指導を受けることにより、より実践場面に対応した訓練の実施により職員相互の理解が進められている。										
	I 主語は(学校)、(美咲特別支援学校の職員である私)の両方の視点で										
16	学校及び職員は、「働き方改革」推進にあたり、組織及び個人としての業務の負担軽減等についてコンセンサスを図るとともに、工夫・改善に取り組んでいますか。	1	7	33	16	0	6	23	12	1 8	3 3
	8月の職員会議に、学校長より本校の「働き方改革」の推進方針が示さ、校務分掌及び学部分掌の整理・人員配置等の改善策が進められたれたが、各学部共に1割強の職員から業務の負担軽減や効率化について改善の余地があるとの回答であり、今後の課題である。										
17	安心・安全な活動のため施設・設備の改善及び環境の維持に努めていますか。	0	2	31	24	0	1	25	15	2 4	4 3
	職員の多数が、救急対応その他について、施設・設備の環境の安全確保については、良好との回答をしている。										
18	学級・学年・学部間の連携がとれ、特色・一貫性のある教育課程の編成及び特色のある教育指導に取り組んでいますか。	0	11	32	14	0	0	28	13	0 1	2 3
	教育課程の一貫性については、次年度の教科中心とした改定に伴い、各学部共に共通理解を図りながら改善が進められているが、校内研修・授業改善を進め特色のある教育指導について、取り組む必要がある(小学部・高等部の1割強から、課題があるとの回答がある。)。										
19	情報の共有化や管理者・関係部署等との意思伝達(報告・連絡・相談)が、確実に行われていますか。	0	2	36	19	0	1	27	13	2 6	6 3
	職員の多数が、管理職及び職員間、各学部等との意思伝達については、良好との回答をしている。										

20 全職員が協力・協働し、学校経営に参画すると共に、業務等の精選を行い、職員のメンタルヘルス等について取り組んでいますか。 この項目については、職員の多数が高評価をしているものの、小学部の約2割がマイナス評価をしている。小学部担当の教頭による教育課程の 改定、また、「働き方改革」に関する言葉を受け手のものと推測される。この点については、2月の職員会議に教頭による謝罪を入れている。 21 体罰防止、人権尊重、個人情報保護・守秘義務等の法令遵守の徹底に常に取り組むと共に、私費会計等については、適正に処理しています 20 21 職員の多数が、学校教育に係る関係法令及び、適切な校務に取り組んでいると回答しており、特に、障害児の人権の尊重の意識は高いと平常 の教育活動から、見て取れる。 23 34 14 27 22 養護教諭及び保護者等と連携して、幼児児童生徒の健康教育や保健指導、体調管理に取り組んでいますか。 多数の職員が、幼児児童生徒の体調管理については、保護者・養護教諭と連携しながら教育指導に取り組んでいると回答している。 23 PTA活動の活性化が図られ、保護者及び関係者に必要な情報を提供するなどの連携が取れていますか。 PTA行事その他の取組について、本校のPTA活動は、教職員の連携・協力が成されていると理解できる。 24 校内研修の充実及び研究授業等による授業改善に取り組むと共に、主体的に専門性の向上に取り組んでいますか。 授業研究会や教育課程改訂の取組を校内研修とタイアップすることで、専門性の向上及び授業改善への教職員の意欲が向上していると理解 できる。



- ・教頭の言葉遣いが悪い。いくら比喩で言っていると分かっていても職場の関係を悪くしてるようにだけ感じる。働きやすい環境を作るならまずは、管理者から始めて欲しい。
- ・小学部段階でのキャリア教育のあり方の職員向け、保護者向けの研修等あればいいかなと思います。
- ・18 要因は様々であると思いますが、各学部それぞれの業務にしか手をつけられない状況なのかなと。教科等で他学部との連携が少ない気がします。業務精選が進んだ後に各学部同士の連携し情報共有が組織でできると、一貫性の ある指導に繋がると考えています。
- ・20 組織として業務精選の動きが出てきているが、職員の意識の差が気になります。それぞれの校務、学務の業務量の違い等でその意識の差が異なると考えています。今年度から始まった校務分掌、学部分掌の見直しをチャンスと 考えて、職員全員で業務精選を進めていくことで働きやすい環境ができると考えています。
- ・18.他の学年でどのような教材や題材を学習をしてきたかがよく分からないので一貫性がとれた教育ができているか確認できない。
- ・現在病休を取る者もいる中、忙しいと言っている職員もいる中、とある管理者の「働き方改革は必要ない、指導要録や出席簿も普通校に比べたら少ないですよね」という趣旨の発言に悲しみを感じました。普通校と特別支援学校 と比較すること自体、どうかと思います。個人的な見解にもかかわらず管理職の名で言われるとやはり厳しいです。あとこの項目にある「達成困難・コンセンサスが得られない事」の条件付きの記述もやめてほしいと思います。何 を基準にそれは判断するのでしょうか?意見は自由なので公共の福祉に反しない限り集約してほしいと思います。それも意見です。集約する側にとって都合のいい意見だけ集める方式は感心できません。・達成困難・コンセンサス が得られない事と判断する基準も明記しないと記入しづらいと思われる。×、▲の理由を記入欄であれば全て記入してもらい、結果として現時点での達成困難等と判断する方が学校評価の趣旨に沿っていると思われる。
- ・学部研修で、学年ごとの学習内容を検討するような機会をもつ・学部間の連携、一貫性のある指導はなかなか難しい(特に自活)だから研修で授業見学等を取り入れている。職員の学部間交流(他学部体験みたいな)ができたら 面白そう。 図書室をうまく活用できていない。階が違うと、つい足が遠のいてしまう。意識して週案に入れていきたい。
- ・本校のような大規模校での学部間の連携は課題だと思う。今年度の校内研修(班別研修)の各教科のグループが各学部縦割りの編成で、他学部の話を共有できたことは、いい取り組みだと思った。・進路(卒業後)に関して保護 者の意識が薄いように感じる。幼小学部の段階から保護者に対して働きかけしていく必要があると思う。
- ・職員の授業準備の時間を増やせるよう、トイレ掃除を外部(卒業生の就労等)に委託する。・登下校時の更なるスムースな誘導、引き継ぎ等ができないか。下校時間までに玄関へ移動しておくことを学部毎に徹底するなど。
- ・校舎内は右側通行と決められているが守られていない現状を大変憂いています。右側通行は小学校の1年生の交通安全教室で警察の方が来て教えているごく基本的な自分の「命を守る」ためのルール(なぜこうなるかをわからな い方は車と人の関係を考えるとわかるかと。上からで申し訳ありません!)です。そんな大事なことが学校で、教職員間で守られていません。こどもに何と言って指導するのか?!人は普通に歩いても時速4キロです。それでぶつ かったらどうなるか?安心して校内を歩けません。妊婦さんや体調の悪い人は危機恐恐としていないのかと心配しています。私自身、その時々で出会った人!には「右側通行です!」と申し上げていますが同じ人に何度も同じこと を言うのは気が退けてきます。安全係にも具体策を示して相談してはいますが現在までの所、何の方策もとられていません。そんな重要なこととは取られていないと感じています。残念です。

- ※ 評価において×、▲の理由を記入して下さい。また、改善するにあたり、具体策があれば提示下さい。(例:No.□ ○○○を改善、△△△に取組 等)
  即改善及び実行できそうな事について方策を具体的に提供ください。(達成困難・コンセンサスが得られない事はご遠慮ください)
- ・業務の精選(各学期に1つ等にするなど) 委員会や係会が多い(校務分掌や学部分掌を見直すので改善の可能性) する等)
- ・業務の負担軽減・精選、メンタルヘルス等について取り組まないといけないと思うが、自分自身にゆとりがなく改善する具体策を考えるゆとりがほしい。定数 プラスαの職員数をお願いしたいです。初任研の職員の提出物に追われ、遅くまで残って仕事をしているという実情を改善できないか(早く家に帰っても提出 物の締め切りに間に合わないということで提出物の作成をやらざるを得ない・・・)。
- ・給食メニューが料金同じですが、以前と内容がかなり違うような・・・。
- ※ 評価において×、▲の理由を記入して下さい。また、改善するにあたり、具体策があれば提示下さい。(例:No.□ ○○○を改善、△△△に取組 等)
  - 即改善及び実行できそうな事について方策を具体的に提供ください。(達成困難・コンセンサスが得られない事はご遠慮ください。
- ①学校の施設を他学部の生徒が使用していることが多い。授業で活用する必要性が生じることはあるが遠慮してしまう。
- ②No.18 生徒によって対応方法が違うので、対応に追われて、教師間でクラスの話し合いが難しい。
- ③幼児児童生徒の発達段階に応じた一貫した教育がされているとは言えないと思う。例えば「清掃活動」の指導においても各学部ばらばらでなのでは? 「キャリア教育」に関しても全職員、各学部が連携して いるとは思えないので▲にしました。
- ④No.14 緊急時の対応方法の保管場所の周知。
- No.20 仕事が早い人に仕事が集中することがあるので、相互扶助の心で仕事を分担し、協力する体制をつくっていけたら良いと思う。
- ⑤NO4,5,6,7 体験や活動を通して学習する機会が少ない。校内での講演会、鑑賞会や発表会、地域での活動等。特に高等部では視野を広めること、他者との関わりの中で自己を見出すことが重要。
- NO16 「働き方改革」とは誰の為のものなのでしょうか。主体者である現場の職員の声を吸い上げてほしい。
- NO17 校内への70台以上の車両の進入を何とかしなければ安心安全な環境とは言えない。
- NO18 学部間連携は今年度研修でようやく着手。これからです。
- NO20 多忙感はなかなか拭えない。学校全体として具体的な取り組みが必要。
- NO24 学習指導要領改訂に伴い、教育課程の変更、体制の構築、授業改善等まだまだ課題が山積みである。職員一人一人が主体的に取り組む必要がある。
- NO26 図書館教育がかなり弱い。蔵書も不十分。国語科社会科等の職員と連携をし平和教育や読書月間の取り組みを強化する必要がある。
- ⑥No4について、授業の配置職員数の削減により、快適な授業実践が難しいです。生徒管理重視になり、生徒自身の学習の定着まで至らず毎回試行錯誤、厳しい困っている状況です。改善策については、考え中。
- ⑦高等部は運動会はなくてよい。練習のために特別時間割等の負担も大きい。体育の授業内で練習ができるレベルでの校内陸上(平日)を毎年やる。予備日なし。保護者の参加もフリーで。中学校のスポレク 大会的な。 高等部単独で毎年みさき市、学習発表会の年は、土曜:高等部の販売(みさき市)、日曜:幼・小・中の発表だと駐車場も混雑緩和できるのでは。
- ⑧No.20 病休職員が多い。人数の多い職場なので割合で言うと気にするべき率ではないのかもしれないが、個人的に危機的状況だと思う。病休予備軍の方もいると考えると恐ろしい。働き方改革も含めまだまだであるし、近年の教職員減少傾向も頷ける。
- ⑨職朝なしの日に連絡を入れているから、学部室に席のない職員には伝わらない。連絡がある場合は、職朝をお願いするよう係から連絡をした方がいい。
- 10 anonymous 教科の授業のカットが行事等であり、始めで年間を通して見通しを立てて授業計画をすることが大切だと今年度思った。

教職員からの指摘事項については、適宜、改善しながら管理職及び教職員が協力・協働する学校経営の推進を図ることを、職員と共通理解しながら取り組む。